



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第50号

令和2年1月

注意



蛇溝町の五穀豊穫を願う「山の神」神事

かみしも
袴の神主と正装の十人衆に町内の方々がつづく



発行：市辺地区まちづくり協議会／東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392

Facebook



ホームページ



新年のご挨拶

新年おめでとうございます。

昨年中はまちづくり協議会の諸活動に対しましてご支援ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は新元号「令和」のスタートとともに私たちの心もリセットされ、穏やかな年を期待していましたが、一昨年につづき台風19号による、豪雨、河川の氾濫など大規模な自然災害にみまわれ、自然の驚異を目の当たりにした一年でした。

今年こそ災害のない一年であってほしい、そう強く願っておりますが、私たちは自然には勝てないものであるならば、

いかに被害を最小限に食い止めるために、何をしていかなければならぬかを考えていきたいと思っています。

当まちづくり協議会では、減災プロジェクトの活動を通して、地震に対する日頃からの備えの大切さについて引き続き発信してまいりたいと思っています。

皆様にとりまして、この一年がご健勝にてご活躍の年となりますようお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

市辺地区まちづくり協議会
会長 須田 智廣



新年のご挨拶

市辺地区的皆様、明けましておめでとうございます。

新元号になって初めての正月を迎えました。元号「令和」の出典は万葉集だったことで、ここ市辺地区ではお馴染みの“万葉の森 船岡山”も注目を浴びています。市辺地域の

ルーツとして、東西の「古保志塚村」の合併で「市辺村」が誕生してから145年が経過し今に至っています。

平成19年にまちづくり協議会が設立され、コミュニティセンターが指定管理施設になって9年目になります。各種団体の協力を得ながら生涯学習や

広報活動などに取り組んでいます。活動の拠点でありますコミュニティセンターも築40年を超きました。施設の狭い問題や防災対策について住民が知恵を出し合う「総合エリア研究会」では住・官・学の協働の取り組みをまとめ上げる年になります。「コミセン部門」と「まちづくり部門」が有機的に機能するまちづくり拠点として取り組んでまいります。引き続き皆様方のご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

市辺地区的皆様にとりまして、この一年が、より一層の飛躍の年になりますようにお祈り申し上げます。

市辺コミュニティセンター
館長 木田 行男



一般の部

第七回 蒲生野万葉短歌会

中学生の部

蒲生野 大賞	蒲生野に一際高き山容は近江の膾炙 <small>かいしゃ</small> そは太郎坊宮	米野 達彦
紫野賞	いつしかに伝言板の消えた駅みな俯 <small>うつむ</small> いてたたく指文字	鎌田 誠
標野賞	北海道札幌市西区	
縁とは	こういうものかとふと思う妻との朝餉 <small>あさげ</small> に味噌汁匂う	
和歌山県和歌山市	和歌山県和歌山市	松田 容典

優秀賞

いにしえの戦国武者に思い馳せ勝ちどきあげる水鉄砲	東近江市立船岡中学校	一年 雲川さくら
特選いちのん賞	東近江市立船岡中学校	三年 南井 華音
前の席振り向く君を待つて いる風になびくうなじがきれい	東近江市立愛東中学校	三年 飛田 竜星
特選いちのべー賞	東近江市立愛東中学校	五年 水野 真志
秋の風もみちが散りし我が庭の今は七き母思 <small>おも</small> い出すかな	東近江市立御園小学校	五年 木下 肇太郎

小学生の部

優秀賞	秋の山紅葉の森見渡して秋と氣づいた小さな変化	東近江市立御園小学校	五年 水野 真志
特選いちのん賞	ほつとする空気がきれいいちのべは田畑広がるやすらぎの町	東近江市立布引小学校	六年 木下 肇太郎
特選いちのべー賞	空の雲あかねのいろにそまりつつ田のいねおどる秋のおとずれ	東近江市立布引小学校	四年 豊田 千花

令和元年度第七回「蒲生野万葉短歌会」には、全国一二都道府県から六三九人一〇六七首の応募がありました。一般の部、小・中学生の部で三賞を受賞された作品を紹介いたします。一般の部、小・中学生なお、表彰式は「いちのべ万葉フェスティ」で行われました。



減災プロジェクトの活動

去る12月7日、アピアにおいて「わくわくこらぼ村」が開催されました。この場では私たちまち協の活動状況を発表するとともに、船岡中学校の皆さんとの活動も発表させていただきました。

まち協としては、減災プロジェクトが作成した減災カルタを紹介し、減災のまちづくりの取組みの一端を発表しました。

また会場に設けられたブースでは減災カルタ取り大会を開催し、多くの

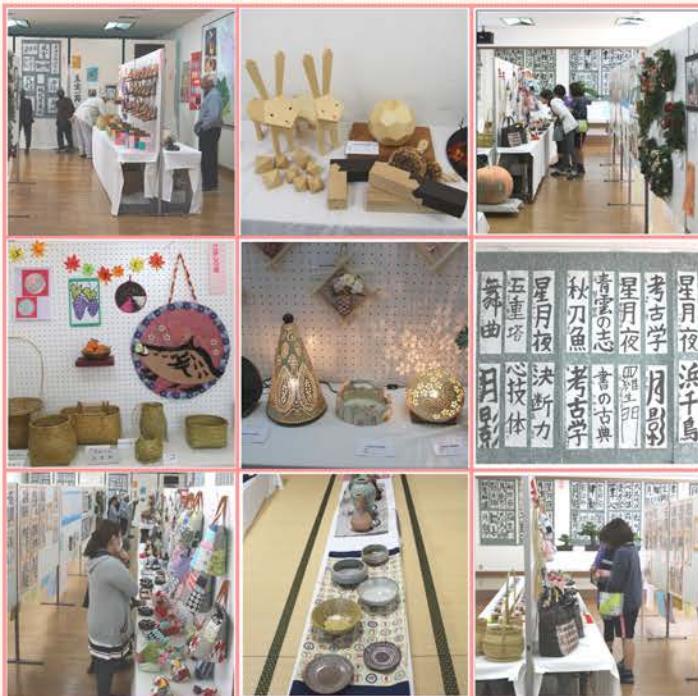
親子さんが参加されると同時に、見学された皆さんからは「良い取り組みをされていますね」との賛同の言葉をたくさんいただきました。減災カルタの取り組みについては、一部のマスコミも興味を示され、カルタ取り大会の様子を取材され、1月3日の京都新聞に紹介されていました。

このように、プロジェクトの活動も多くの成果を残しており、現在は災害時の避難時要支援者の支援個別計画作成に取り組んでいます。自治会・自主防災組織・民生委員さんとともに、今年度中に実現したいと思っています。

この活動を以てプロジェクトとしての役割を終了し、以降の減災に関する取り組みは、自治会・自主防災組織・まち協の共同作業として発展させていきたいと考えています。(プロジェクトリーダー 榎木貞夫)



力作ぞろいの「文化祭」賑わう



御代参街道を歩く(第2回)

11月29日(金)好天の朝、日野駅前で記念写真を撮り一行17名は日野町内池を出発し御代参街道を歩き始めました。今回は、道中に榎木貞夫さんが詠まれた短歌で概要を紹介します。

「すすやみの宮で見つけた
総代さん いつの間にやら案内人に」(親切な方で先回



りをして案内をして下さった)。

「日野駅の誕生祝う道しるべ 当時の人の喜び浮かぶ」(右「ステーション」・左「ひの道」の道標)。「岡本の宿場面影残す碑が昔のにぎわい脳裏に浮かぶ」「山部の宮と寺とが隣り合い 万葉歌人の偉徳を忍ぶ」

「大蛇住む昔の伝説聞きながら もう終点かとさみしくもあり」

この日は、内池から、小御門、竹田神社、岡本宿、ガリ版伝承館で昼食をとり、山部神社、上小房村(桜川東)、長谷野子安地蔵までを歩きました。

第3回は、今年の秋に土山から日野を歩く予定です。

<東市辺町>徘徊者声かけ訓練



11月24日(日)東市辺町で「認知症による徘徊者の早期発見・声かけ訓練」が実施されました。

訓練は17日の夜「認知症」についての勉強会を行い、当日9時30分「認知症の高齢者が行方不明になり、家族からの捜索協力の依頼があった」と想定して始められました。連絡網により招集を受けた参加者は、草の根ハウスに集合し、服装などの特徴を確認し数人のグループで徘徊者を捜索し、声かけが行われました。捜索終了後に全員が集まり「反省会」が行われ、講師(市社協)や徘徊者役(今回3名)から改善点などの指摘を受け、次に繋げています。

訓練は、平成28年より毎年行われており、今回の参加者は事前勉強会45人、訓練参加者40人でした。

自治会長は「4年で延べ160人の参加であるが全自治会員に経験してもらいたい」と述べておられました。

東近江保健センターからのお知らせ

令和2年度から成人病健(検)診案内の受診券シールからハガキでの案内に変わります。

令和2年度から成人病健(検)診の受診シールを廃止し、はがきでのご案内となります。詳しくは「案内はがき」、「令和2年度東近江市健康ガイドブック」または東近江市のホームページをご覧ください。

問い合わせ先: 東近江保健センター

電話23-5050・IP 050-580-5050

部会だより

子ども健全育成部

令和2年の新年を迎え、おめでとうございます。わが部は、好天に恵まれた万葉フェスタの10月27日、凧作りをしました。多くの子どもの参加を頂き、真っ白な凧に絵を描き、足を付け、世界で一つだけの自分の凧が沢山できました。

また1月には、育成会とコラボで、百人一首大会があります。10月、11月、12月と3回練習はありましたが、今一つ人数は少なかったようです。本番の日には、沢山の方々に参加いただきたいと思っています。

これから学んでいく百人一首、予習の意味で気に入る歌2首3首を頭にインプットして、本番で大いに力を発揮いただけます。

(部長 中村 好美)

自然・環境部

望むものが簡単に手に入る時代。大型量販店もでき、今まで我慢していた物も買ってしまう。すると古いものはいらなくなる。食品も以前より安い。いつの間にか冷蔵庫は満室。奥の方が確認し辛く気づけば期限切れ。以前なら捨てずに、また煮て焼き直してましたが、今はゴミステーションに出しておけば処理される。個別パッケージされた食品、衣料、雑貨、それらが更にレジ袋に。道端の田を耕作していると、どれほど弁当空のゴミが放り込まれていることか。知らぬ間に水に流れて海まで。生き物が死ぬ。劣化したマイクロプラスチックを食べた魚が私たちの食卓へ。病も増えるはずだ。人類が行いを改めぬ限り、人類もまた同じ運命をたどる。

(部長 小西 恵美子)

地域活力部

時折、万葉公園船岡山を今以上に観光に活かせないかと聞きます。現在でも、春から夏には万葉集ファンや蒲生野ファンが遠くは九州や関東から来訪されています。

今は、国道421号線（八風街道）から直接車で万葉公園に入ることができません。蛇砂川に橋をかける必要もあり、東近江市としての計画は現時点ではないようですが、数十台規模の駐車場が欲しいものです。

額田王に加え、「令和」の元号が万葉集から引用された事もあり、奈良市、富山県高岡市、宮城県多賀城市、福岡県の太宰府とともに東近江市がクローズアップされています。実現に向けて好機到来だと思いますが…。

(部長 森島 安夫)

安全・安心部

安全安心部は昨年10月の万葉フェスタで、非常食としての塩おにぎり（赤十字奉仕団のハイゼックスを使用）と乾パンお粥（カレー味・ココア味）の試食を行い、多くの方々に参加していただきました。

12月7日に八日市アピアホールで開催された「わくわくこらぼ村」では、「減災カルタ」を来場の子どもたちと一緒にになって楽しみました。また、年末の防犯パトロールにも参加しました。

最後になりますが、「普通救命（AED）講習会」の開催を予定しています。

日時 2月16日（日）9時～12時

会場 八日市消防署

後日詳しい案内をさせていただきますので、多くの方々のご参加をお待ちしています。

(部長 柴田 俊幸)

健康・福祉部

本年度の事業も順調に進み、3月の事業を残すのみとなりました。

みなさんのご参加、関係役員のご協力いただきありがとうございました。以下簡単な報告をいたします。

①健康づくりを実践する場の支援

9月25日（水）市辺グランドゴルフ大会。布施公園にて47名の参加を得て開催されました。好天に恵まれ少しは健康づくりに役立ったのではないでしょうか。

②脳の活性化を目指して

12月3日（火）市辺ふれあいサロン第2部として、午後1時から2時30分まで「みんな楽しく元気に歌いましょう」が行われました。勝見聰子さん、杉澤麻規子さんの指導で20曲程みんなで歌いました。参加者は招待を受けた80歳以上の老人クラブ会員、役員、一般参加を含め50余名でした。

盛会のうちに終了することが出来ありがとうございました。

③予告「ちょっときてえな講座」開催のお知らせ

日 時 3月13日（金）午後1時30分から午後3時
場 所 市辺コミセンホール

テマ 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために!!

ポイント：医療、介護、福祉について話されます。

講 師 東近江ロータリークラブ会員

永源寺診療所所長 花戸貴司先生

市辺地区のみなさん!!多くのご参加をお待ちしております。

(部長 今井 肇)

歴史・文化部

下剋上の戦国時代を好きな方が沢山おられます。その戦国の世に豊臣秀吉の下で、戦いの度に手柄をたて会津若松の大大名となった蒲生氏郷（蒲生郡出身）は、39歳の若さで亡くなり、目覚ましい活躍のわりに忘れられているように思われます。

ところで、蒲生中学校（船岡中学校の前身）の校章は、この蒲生氏郷の戦の馬印（うまじるし）三蓋笠を図案化したものといわれており、校歌2番の歌詞では「三蓋笠の名にかけて…」と暗に蒲生氏郷を目指すように作詞されています。

今回の「市辺れきし発見塾」では、

「蒲生氏郷の城」と題して講演会を開催しますので、是非ご参加下さい。

日 時 令和2年2月23日（日）

午後1：30～3：00

場 所 市辺コミセン大ホール

講 師 福永 保（日野町在住）

蒲生氏郷公顕彰会理事

(部長 苗村 久男)



蒲生中学校 校旗



昨年は日本でラクビー・ワールドカップ（W杯）が開催され、日本代表が8強までの快進撃を見せ、また掲げた「ONE TEAM（ワンチーム）」という言葉が昨年の年間流行語大賞に選ばれました。

今年の年頭の挨拶の中では、ラクビー日本代表の活躍にあやかり、この「ワンチーム」という言葉が引用されていましたが、この市辺地区もチームワークを図り、強いワンチームとして飛躍の年としたいですね。（T. K）